大阪市教

2016年3月3日
VOL. 523

発行　大阪市学校園教職員組合
大阪市中央区法円坂1-1-35（大阪市教育会館内）
TEL 6910-8700　FAX 6910-7990

Let's study together!

青年フェスタに500人 仲間が増えた！

記念講演が行われた開会全体会

第27回青年フェスタが2月13日、14日に開かれ、500人（大阪市教58人）が参加しました。青年の交流が進み、組合員が増えました。大阪市教の青年は実行委員として大活躍。レポート交流会の報告者になりました。先輩も講座の講師になりました。

参加者の声

○小学1年生から作成できる簡単な理科工作3本立てで、こどもの気持ちになって活動できました。始めに先生が、「このように、次は、」と工作の説明を進めるにつれて、「次はどうなるの？」「早く作りたい」とワクワクしました。また、簡単な作りなので、できないこどもが少ないだろうということも予想できました。安全性も考えられており、指導上の支援、声かけなども教えてくださいました。最近、小学校でも理科専科の先生が増え、学級担任していると理科を教える機会が減ってきました。わたしも教師経験の割には理科指導の経験が少ない1人です。とてもよい機会になりました。（O）

○小学校高学年のレポーター発表では〝子どもが本音を話せる学級づくり〟について改めて考えさせられた。話し合い活動で子どもたちが素直に意見を交換し合えるようになるには、型にはまった進め方以上に大切なものがあるように感じた。また生活作文では、書くことのすばらしさ、子どもたちの自由な表現力に心打たれた。まずは先生である自分が、いつでも子どもの「先生、あのね」を受け止められるゆとりを忘れず持っていたいと思う。（Y）

夕食交流会

ウクレレ講座

○西谷さんの講演では、取材映像から戦争の悲惨な実態、テレビ報道の真実が。報道は、ISは危険集団だとして「テロとの闘い」の正当性を強調するが、既に1兆円の戦費が投入され、毎日、100人単位で命が奪われていること、ISが台頭した歴史的背景を客観的に論じているものは少ない。「ISは危険集団・イスラム教徒はテロリスト」の刷り込みが行われている。そのことで、戦争が継続され、軍事産業が儲かる。権力側に都合がいいように情報が操作されていると。危惧すべき人物・事象に「安倍首相・橋下前大阪市長・原発・戦争（核兵器）」を指摘。テレビは安倍首相が教育費を削減し、軍事費を増大させたこと、橋下氏が意図的に国民分断（例：民間労働者vs公務員）していることを報じない。権力側に懸案事項があるとき、どうでもいい情報を流し続ける。政府は国民の目を福島原発事故からそらさせ、戦争参加する国づくりを着々と進めている。そして、報道の多くがそれに加担している。しかし、報道関係者の多くは、「真実を伝えたい」と思っているはずで、その意地を、深夜の良識ある番組に見ることができるとも。その時間はスポンサーの意向を気にしなくてもいいのだろう。学習を深め、真実の情報を獲得する能力を高めていきたい。（B）

作文実技講座

たんぽぽだより　3月

青年フェスタに参加しました。今年もとても盛り上がりました！分科会ではクラス作り（高学年）に参加して、学級会の進め方や作文を通して子どもとつながる方法について学びました。

夕食交流会はゲームやイベントで仲間と笑い、つながり、楽しかったです。そして、お楽しみの温泉とお酒。日頃の悩みやグチを語ったり普段頑張っている実践を聞いたりして、疲れやストレスが吹っ飛びました！

2日目は演劇の実技に参加し、台本の作り方や台詞の言い方、声の出し方など教えてもらいました。さっそくクラスでやってみようと思います。帰りに車で仲間と「今年も、もう終わるねぇ」としみじみ。学べる！つながる！青年フェスタは最高です。来年も絶対行こうと思いました。4月23日に新歓フェスタがあります。新任や講師の方を誘って学び、つながりに行きましょう！（K）

生活、権利、平和を守れ

2016春闘宣言集会

大阪市内2016春闘宣言集会が2月25日、住まいのミュージアムで開催されました。大阪労連・大阪市地区協、みどうすじ総行動実行委員会が主催。市内の仲間が会場いっぱいに集まりました。

記念講演で、神戸女学院の石川康宏教授は、戦争法廃止の取り組みが、廃止する取り組みにとどまらず、立憲政治を取り戻す、歴史的にも重要な取り組みであることを強調。運動を進めるために、個人の発信力（知性）を鍛えていく必要があること、いま元気に運動を自分たちの言葉で引っ張っているシールズの若者たちの進んだ経験を取り上げました。

大阪市教は、本部、支部、分会が参加し、全体の司会に青年が活躍。1分間スピーチでも、ダブル選挙での青年の頑張りと組合員拡大を報告し集会参加者を励ましました。最後、恒例の餅まきで、賑やかに盛り上がる集会となりました。

小学3・4・5・6年学テ
市長 総合教育会議で介入

地方教育行政法の改悪で設置された市長と教育委員による総合教育会議が2月17日に開催されました。教育振興基本計画について次期計画策定まで現行計画を延長し、「次期計画において取り組むことが想定される施策例（案）」とし「大阪市小学校学力経年調査」をあげました。小学校3・4・5・6学年を対象とし、教科に関する調査（国・社・算・理）、学習・生活状況等に関する調査を2017年1月中旬に実施予定としています。

目的として「組織的かつ継続的な学力向上検証改善サイクルを確立する」「各学校の課題に応じた教育施策の充実を図る」としており、学力テストの点数で学校・子どもを管理し、競争を一層激化させようとしています。

学校教育の質の向上として、①学校適正配置（区担当教育次長である区長による学校統廃合）、②人材育成（給与制度改革等）、③教職員のモチベーションの向上：職責に応じた職務給を導入、がんばっている教員がよりがんばれる制度を構築（大森教育委員長は2013年に校長には教諭の最高級の2倍、教頭には1・5倍、採用後10年で昇給・昇格頭打ち、賞与は勤務評定に基づく業績給とする給与制度を提案）、③公設民営の手法による国際バカロレア認定コースを持つ中高一貫校の開設を上げています。振興計画の問題を広く市民に知らせ、給与制度は提出した要求書で交渉を行います。

高校入試制度の改悪、大阪府チャレンジテスト、大阪市統一テストにより、「テストの点数がすべて」となり、中学校教育が大きく歪められていますが、小学校3年生から競争を激化させることは許されません。

小学校低学年からの英語教育の推進、ICT活用事業を引き続き重点的に取り組むとしています。

教育振興基本計画

○英語イノベーション事業
○学校教育ＩＣＴ活用事業
○大阪市小学校学力経年調査
○幼児教育の質の向上
○学校適正配置
○人材育成（給与制度改革等）
○公設民営中高一貫校の開設

市教協要求書（2月3日）

府市権限移譲に関する要求

○人事委報告「他都市との均衡」を考慮し大阪市から人が逃げる状況を作り出さないこと。
○母性保護など現行府費教職員「制度」を後退させないこと。
○校長2倍、教頭1.5倍の給与、10年で昇給停止等を行わないこと。
○勤務評定制度導入反対。

2016年度 本部執行部

役職	氏名
執行委員長	宮城 登（東部 巽中）
副執行委員長	前垣 泉（南大阪 大領中）
副執行委員長	竹下 哲生（東南 喜連北小）
書記長	久家 環（東南 長吉出戸小）
書記次長	覚道 康代（南大阪 天下茶屋小）
書記次長	馬場 史章（城北 榎並小）
会計委員	城寿 美香（港 三先小）
会計委員	諫早 健義（北大阪 瑞光中）
執行委員	甲〆由利子（中央 日東幼）
執行委員	三上 瑞穂（北大阪 新高小）
執行委員	松宮 久美（東南 瓜破西中）
執行委員	今上 雅義（西大阪 鷺洲小）
執行委員	山林 哲（城北 すみれ小）
執行委員	田中 幸恵（西大阪 島屋小）
会計監査	大中 重範（北大阪 西三国小）
会計監査	図書 啓展（東南 喜連北小）
会計監査	市本ひとみ（城北 聖賢小）
特別執行委員	舛田佳代子（城北 鶴見小）
特別執行委員	小林 優（北大阪 小松小）